

震生湖線への対応について

本日の目的

ますます交通を取り巻く環境は厳しさを増し、今後は更なる路線バスの減便、廃止も見込まれる。このような状況においては、限られた資源を有効に活用し、持続可能な対応を長期的に行っていくことが必要となる。そのために町が行うべき施策について、ご意見をいただきたい。

○ 震生湖線への対応

可能な限り現在の予算規模を維持した中での対応を考えたい。

→ 将来的な公共施設の配置も見据えた中で、さしあたり小中学生の通学を保証するために廃線となる路線バスの代替手段が必要。

対応案1 オンデマンドバス以外の車両を活用

マイクロバスやタクシーを路線バスと同じルートで運行する

メリット.....現在のオンデマンドバス利用者に影響が出ない

デメリット...新たな費用が発生する
(ただし路線バスへの補助金がなくなることでほぼ相殺できる)

対応案2 オンデマンドバスの活用

オンデマンドバスを朝の時間帯だけ路線バスの代わりに同じルートで運行し、バス路線沿線に居住する境地区の小中学生に限って利用を認める

メリット.....現在のオンデマンドバス予算と同額で実施可能

デメリット...①小中学生以外の利用者が使用できなくなる

②沿線に居住する全ての小中学生を乗せようとするとう定員を超えてしまう

③利用者が少ない場合には1台が運行しない形になる

④運行方法が変わるため相当の周知期間が必要

参考:現在の震生湖線を利用している小中学生は、行きが1日平均約5名、帰りが約1名。
沿線に居住する小中学生は23名。